

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	交流・環境	責任者	港営部 港営課長
施策名	良好な港湾環境の形成	連絡先	052-654-7871
事務事業名	構築物建設、水域占用等の許可	連携課	計画担当、環境担当、海防課、工事課、施設工事担当、港湾工事事務所、施設事務所
目的	対象(誰・何を)	事業者等	事業期間 昭和40年度～継続
	意図(どういう状態にしたいか)	基準に適合した構築物の建設や水域の占用等を行うことによって港湾の開発又は管理に支障が生じないようにします。	
概要	臨港地区内・港湾区域内における一定の行為(工場・事業所の新設又は増設、水域占用等)に対し、関係法令に基づいて、各種審査を実施し、許可等を行います。		根拠法令等 港湾法、名古屋港臨港地区内の分区における構築物の規制に関する条例、名古屋港の港湾区域又は港湾隣接地域内における行為の許可に関する条例、同規則
活動内容	法令に基づき事業者等から各種申請等を受け、内容を審査のうえ許可等を行います。また、申請の前段階においては、手続きを円滑に進めるため事前相談を受け、リーフレット等を用い規制内容や手続きの流れについて説明を行うとともに、随時、臨港地区等の規制に関する問い合わせや相談に応じます。さらに、必要に応じて申請・許可等にかかる現地確認を行います。		実施義務 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
			関連シート

2 DO(実施)

コスト	単位	26年度	27年度	28年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	0	0	0	0	
人件費	千円	45,552	45,807	46,587	45,982	
合計	千円	45,552	45,807	46,587	45,982	

3 CHECK(検証)

指標名	26年度	27年度	28年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因	
許可審査期間内に審査が完了できなかった件数(件)	-	0	0	0	0	「名古屋港の港湾区域内又は港湾隣接地域内における行為の許可に関する条例施行細則」に定められた許可審査期間(20日間)内に審査が完了出来なかった件数		
(単年度管理型)	0	0	0	目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る			
年間処理件数(件)	目標	-	-	-	-	事業者からの申請等に対する年間の処理件数		
(単年度管理型)	実績	263	213	226	-			
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	許可審査期間内に審査を完了できなかった件数は0件を維持しており、着実に業務を遂行しています。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○	港湾法等法令に定められた事務です。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○	港湾の管理運営に支障となる事象は生じておらず、良好な港湾環境の形成に貢献しています。					
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○	説明用リーフレットの用意、申請書類のHPへの掲載や、事前相談を行うことで効率的な運営に努めます。					

4 ACTION(取組)

課題	29年度以降の取組
港湾の秩序ある開発・利用が行われるよう、名古屋港に係る規制について分かりやすく説明する必要があります。	成果を維持する必要があることから、引き続き適切な事務処理を行います。